

## 学習指導案 略案様式（自立活動）

あおば学級	指導者	木付一音	
	題材名等	相手の気持ちを知ろう。	
	関連する 自立活動の 内容	区分 人間関係の形成 コミュニケーション	内容 (2)他者の意図や感情の理解に関するこ (5)状況に応じたコミュニケーションに関するこ
題材	題材目標	・カードと同じ表情をすることでどんな気持ちなのか知ることができるようする。 (A児) ・カードと同じ表情をすることで、自己認知を深めることができるようする。 (B児) ・相手の表情を見て、○○な言葉がけができるようする。(C児・D児)	
	主な学習活動 と 指導上の工夫	●相手の表情を見て、その時の気持ちを和らげる言葉かけは何がよいのか考えて声かけができるのか確認する。 ○カードを見て表情を真似てみる。 ○カードを見て悲しかったり悔しかったりしたことを思い出す。	
	ねらい	「相手の気持ちを知り言葉がけができる」 カードの表情を真似たり、その時の気持ちを思い出したりして、相手の気持ちを和らげる言葉かけができる。(5年)	
本時 (全1時間)	学習 過程	<p>「めあて」 「相手はどんな気持ちだろう」 『課題』 「相手の気持ちはどこを見たらわかるのだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・袋に入ったカードを引いて選ぶ。</li> <li>・タブレットを使ってカードの表情をれんしゅうする。</li> <li>・表情を撮影して順番で発表する。</li> <li>・表情を見て相手はどんな気持ちだったか考え、発表する。</li> <li>・本人から気持ちを聞く。</li> <li>・そんな時は、どんな言葉が合うか発表する。</li> <li>・本人にその言葉が合っていたか聞く。</li> </ul> <p>「まとめ」 相手の顔の表情から気持ちがわかる。 「振り返り」 「悲しかった時にやさしく声をかけてもらつてうれしかつた。」</p>	
	指導・支援と 留意点	<p>●学習活動 ○支援</p> <p>●相手の表情を理解して、和らげる言葉を考える。 ○自分に置き換えて言葉を考える。</p> <p>●タブレットを使用してカードの表情を真似る。 ○カードの表情をわかりやすく説明する。</p>	<p>備考(準備物等)</p> <p>・表情カード</p>